

三内丸山通信



みなさんーんっ

三内丸山遺跡マスコットキャラクター

ついに
決定!
です

皆さんこんにちは。私の名前は
さんまる
といいます。
これから、私のヒミツを大公開しますね。

ジュミンのり

ジュミンのり

私は、四千五百年前に生まれました。生まれた場所は、もちろん三内丸山です。平成十三年度の発掘調査で、眠りからさめました。でも、あまりにも長い時間土の中だったので、体はあちこち傷んでいて、名前もなかったんです。

そこで、三内丸山遺跡対策室のみんなが、あんまり私がかわいそうなので、私の体や名前について、いろんな人から意見を募集したんだよ。

日本全国からたくさんの応募があつて、その中から、私の体を考えてくれたのは、青森市に住む須藤正智さん。名前は、八戸市に住む向谷地和子さんが考えてくれたんだ。

全国のいろんな人が私のためにたくさん意見を応募してくれて、すっごく感謝です。残念ながら選ばれなかった人も、私のこれからの大活躍を応援してくださいね。ひょっとしたら、シルルになったり、ホームページに出演したりするかも。これからは、がんばるぞー!

えいえい、

おーっ!

長い間眠っていたせいか、私が暮らしていた四千五百年前のことは全く覚えていないんだ。父さんやお母さん、兄弟や友達のことにも全く覚えていなくてすごく悲しいよ。でも、三内丸山遺跡対策室のお兄さんやお姉さんが、四千五百年前の三内丸山の人たちがどんな暮らしをしていたか探り当ててくれると思うんだ。私もいっしょに考えて、がんばるから、みんなも応援してね。

おねがい

私には友達がまだいないので、みんなが友達になってくれればうれしいな! それから、三内丸山遺跡のホームページが最近できただけで、そのうち私も登場することになっているから、こまめにチェックしてね。

もつともつと、言いたいんだけど、もう紙面が無くなってきちゃった。さよならしなきゃ。

これから、さんまるを応援してくださいね。みんな、バイバイ。

三内丸山遺跡

公式 ホームページ 開設!

<http://sannaimaruyama.pref.aomori.jp/>

り込んでいます。
また、三内丸山遺跡が現在に至るまでのあゆみや発掘調査の成果、発掘調査報告書の一覧のほか、三内丸山遺跡をおして縄文時代、のぞいてみるコーナーもあります。
今後さらに遺跡を楽しんでいただけるようなページを増やしていく予定です。どうぞご期待ください。

お待たせしました。ついに三内丸山遺跡対策室が提供する公式ホームページが開設されました。
このホームページでは、遺跡の概要説明や遺跡案内、のほか、ボランティアガイドの利用方法や出発時間、三内丸山遺跡で開催されるいろいろなイベントの案内、体験学習のメニューなど、最新情報をたくさん盛り込んでいます。

三月二十四日、青森市荒川にある総合社会教育センターで三内丸山遺跡報告会が開催されました。これは、今年度の発掘調査や研究成果について広く情報発信するために毎年行われているもので、多くの方々から聴講されました。

まず、今年度の三内丸山遺跡の発掘調査の成果報告や日中共同研究が行われている中国興隆溝遺跡の発掘調査について報告が行われました。

三内丸山遺跡 報告会

二月二十四日、吹田市にある国立民族学博物館で「全国キャラバン三内丸山遺跡・縄文シンポジウム2002 in 大阪」が開催され、たくさんの方々から聴講されました。これは三内丸山遺跡の情報を全国に向けて発信するため、今年で二回目となります。

全国キャラバン 大阪 シンポジウム



パネルディスカッションの様子

今年度の発掘調査の成果についての報告後、鈴木三男さん（東北大学教授）が「木材から見た三内丸山遺跡」、佐藤洋一郎さん（静岡大学助教授）が「DNAから見た縄文農耕」について講演を行いました。

春であ 再開!!
ボランティアガイド

について、公募研究では個人研究3件、共同研究2件、総合研究では2件の発表が行われました。

また、来年度の発掘調査地点について検討され、三地点で発掘調査が行われることが決まりました。

三月十三日、体験学習館で今年度第三回目の発掘調査委員会が行われました。まず、今年度の発掘調査成果について報告が行われ、その後、縄文時代の道路跡や墓について、専門的な立場からくわしい検討が行われました。

また、ロビーでは遺物やパネルの展示も行われました。

また、ロビーでは遺物やパネルの展示も行われました。